

I 例にならい、○で囲まれた 1～18 の 2 音間について、
A から E については、その音程名を [] のなかに、
F から J については、その転回音程名を () のなかに、それぞれ書き入れなさい。
ただし、複音程は単音程に直すこと。

A musical score for the song 'The Rose Tree'. The score is written for a single melodic line on a treble clef staff. The key signature has one flat (B-flat), and the time signature is 4/4. The melody consists of 18 numbered measures. Measures 1-4 are in the first system, measures 5-8 in the second, measures 9-12 in the third, and measures 13-18 in the fourth. The melody features a mix of quarter, eighth, and sixteenth notes, with some measures containing rests. The final measure (18) ends with a double bar line.

例：1 と 2（完全5度）、 F：5 と 6（ ）、 G：9 と 11（ ）
H：10 と 11（ ）、 I：13 と 14（ ）、 J：17 と 18（ ）

例：

The image shows a sequence of six musical staves, each with a different clef and key signature, illustrating various triads and dyads. The staves are numbered 1 through 5. Staff 1 (treble clef, C major) shows a long triad (C-E-G). Staff 2 (treble clef, D minor) shows a short triad (D-F-A). Staff 3 (bass clef, G major) shows a dominant seventh triad (G-B-D-F). Staff 4 (bass clef, C major) shows a long seventh triad (C-E-G-B). Staff 5 (bass clef, D minor) shows an augmented triad (D-F-A). Staff 6 (bass clef, C major) shows a diminished fifth dyad (C-G) and a short seventh dyad (C-B).

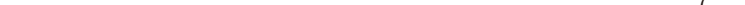
① ② ③ ④ ⑤

長三和音 短三和音 属七の和音 長七の和音 増三和音 減五短七の和音 (導七の和音)

C dur ()
 F dur ()
 G dur ()
 e moll ()
 f moll ()

例) d mollの同主調の音階を、調号を用いて主音から主音まで高音部譜表上に。

(1)

(2) 

[illegible][illegible]

(5)

()

楽典

(50分)

I

例) にならない、○で囲まれた1～17の2音間について、
A)からE)については、その音程名を〔 〕のなかに、
F)からJ)については、その転回音程名を()のなかに、それぞれ書き入れなさい。
ただし、複音程は単音程に直すこと。

例) 1 と 2 [完全5度]

A) 4 と 8、 B) 5 と 6、 C) 7 と 10、 D) 9 と 12、 E) 9 と 16

例) 1 と 2 (完全4度)

F) 1 と 3、 G) 4 と 7、 H) 8 と 11、 I) 13 と 14、 J) 15 と 17

II

例) にならない、与えられた各音を第3音とし、指示された種類の和音として残りの音を全音符で書き入れ完成させなさい。更に、その和音が所属する全ての調を〔 〕内に書き入れなさい。ただし、調号(♯・♭)はそれぞれ7つまでの調とし、短調は和声短音階のみで考えること。また、所属する調がない場合は×を書き入れなさい。

長三和音 短三和音 減七の和音 属七の和音 減五短七の和音 増三和音
(導七の和音)

C dur
F dur
G dur
e moll
f moll

V 次のA群の楽語にもっともふさわしい訳語をB群から選び、()内にその番号を書き入れなさい。

〈A群〉

〈B群〉

- | | | |
|----------------------|------------------|-----------|
| ① morendo () | 1. 分散和音で | 11. 次第に遅く |
| ② heftig () | 2. ビブラートなしで | 12. もっと遅く |
| ③ più lento () | 3. 徐々に弱く消えていくように | 13. 心地よく |
| ④ piacevole () | 4. 高貴に | 14. 幅広く |
| ⑤ grazioso () | 5. 感情をこめて | 15. 歌うように |
| ⑥ largamente () | 6. 優雅に | 16. 重々しく |
| ⑦ arpeggiare () | 7. 生き生きと | 17. 力強く |
| ⑧ senza vibrato () | 8. 激しく | 18. 繊細に |
| ⑨ animé () | 9. 乾いたよう | 19. 急いで |
| ⑩ con sentimento () | 10. 速く | 20. おどけて |

VI

1) 次の楽曲の㉞、㉟で示された音は非和声音であるが、その名称を
(①倚音 ②逸音 ③経過音 ④刺繍音 ⑤先取音 ⑥掛留音 ⑦保続音)
から選び、番号で答えなさい。

㉞ () ㉟ ()

2) 上記楽曲を調号を用いて長2度下に移調しなさい。

III

例) にならない、指定された音階の上行形を全音符で、指示された譜表に書き入れなさい。
(#・bそれぞれ7つまでの調で考えること)

例) d mollの同主調の音階を、調号を用いて主音から主音まで高音部譜表上に。



- 1) D音を下属調の導音とする短調の和声短音階を、調号を用いて主音から主音まで高音部譜表上に。
- 2) 全音音階を、D音から開始して6番目の音までテノール譜表上に。
- 3) 下中音がAs音である長調の異名同音調を、調号を用いずに主音から主音まで低音部譜表上に。
- 4) 派生音のない長調の音階を、主音から主音までソプラノ譜表上に。
- 5) F音から始まるリディア旋法の音階を、開始音から終止音までアルト譜表上に。

IV

次の楽曲断片を調判定して、() 内に調名を記入しなさい。

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)

V

次のA群の楽語にもっともふさわしい訳語をB群から選び、() 内にその番号を書き入れなさい。

〈A群〉

- ① con malinconia
- ② stretto
- ③ mezza voce
- ④ tempestoso
- ⑤ senza pedale
- ⑥ burlesco
- ⑦ con allegrezza
- ⑧ mächtig
- ⑨ tenuto
- ⑩ mano sinistra

〈B群〉

1. ゆったりと
2. ペダルなしで
3. 平和に
4. 力強く
5. 憂うつに
6. まじめに
7. 声量を落として
8. 音の長さを保って
9. ペダルを用いて
10. 左手で
11. なめらかに
12. 音を短く切って
13. 大声で
14. こっけいに
15. 右手で
16. 嵐のように
17. 繊細に
18. 快活に
19. せき込んで
20. 飛ぶように

VI

- 1) 次の楽曲の⑦、④で示された音は非和声音であるが、その名称を(①倚音 ②逸音 ③経過音 ④刺繍音 ⑤先取音 ⑥掛留音 ⑦保続音) から選び、番号で答えなさい。

Andante

- 2) 上記楽曲を調号を用いて短2度上に移調しなさい。

楽典

(50分)

I

例にならい、○で囲まれた1～16の2音間について、
A)からE)については、その音程名を〔 〕のなかに、
F)からJ)については、その転回音程名を()のなかに、それぞれ書き入れなさい。
ただし、複音程は単音程に直すこと。

例) 1 と 2 [完全4度]

A) 3 と 5、 B) 4 と 6、 C) 5 と 7、 D) 8 と 11、 E) 11 と 13

例) 1 と 2 (完全5度)

F) 9 と 10、 G) 9 と 14、 H) 11 と 12、 I) 12 と 13、 J) 15 と 16

II

例にならい、与えられた各音を第3音とし、指示された種類の和音として残りの音を全音符で書き入れ完成させなさい。更に、その和音が所属する全ての調を〔 〕内に書き入れなさい。ただし、調号(♯・♭)はそれぞれ7つまでの調とし、短調は和声短音階のみで考えること。また、所属する調がない場合は×を書き入れなさい。

長三和音 短三和音 属七の和音 長七の和音 減五短七の和音 (導七の和音) 増三和音

〔 C dur
F dur
G dur
e moll
f moll 〕

III

例にならい、指定された音階の上行形を全音符で、指示された譜表に書き入れなさい。
(♯・♭それぞれ7つまでの調で考えること)

例) d mollの同主調の音階を、調号を用いて主音から主音まで高音部譜表上に。

- 1) C音を下属音とする短調の中音を主音とする短調の旋律短音階を、調号を用いずに主音から主音まで低音部譜表上に。
- 2) 構成音がD、Fis、Aの和音を主和音とする調の下中音を主音とする長調の音階を、調号を用いて主音から主音までテノール譜表上に。
- 3) 属調の上主音がF音である長調の音階を、調号を用いずに主音から主音までアルト譜表上に。
- 4) G音から始まるドリア旋法の音階を、臨時記号を用いて開始音から終止音まで低音部譜表上に。
- 5) 派生音のない自然短音階を、主音から主音までソプラノ譜表上に。

IV

次の楽曲断片を調判定して、()内に調名を記入しなさい。

新曲視唱

V

次のA群の楽語にもっともふさわしい訳語をB群から選び、() 内にその番号を書き入れなさい。

〈A群〉

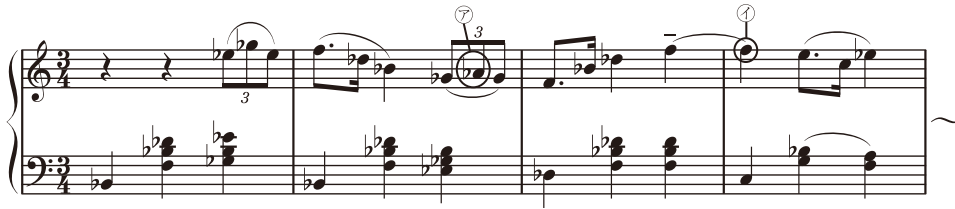
- ① mobile
- ② con tutta la folza
- ③ andante
- ④ impetuoso
- ⑤ träumend
- ⑥ altra volta
- ⑦ recitando
- ⑧ senza sordino
- ⑨ dolente
- ⑩ alla caccia

〈B群〉

- 1. 穏やかに
- 2. 全力で
- 3. はじめから
- 4. ポロネーズ風に
- 5. 動いて
- 6. 歌うように
- 7. おどけて
- 8. 語るように
- 9. もう一度
- 10. 歩くような速さで
- 11. 静かに
- 12. 狩りの歌のように
- 13. 遅く
- 14. 弱音器なしで
- 15. 夢見るように
- 16. 楽しげに
- 17. 力を抜いて
- 18. 痛ましく
- 19. 激しく
- 20. 弱音器をつけて

VI

- 1) 次の楽曲の⑦、④で示された音は非和声音であるが、その名称を
(①倚音 ②逸音 ③経過音 ④刺繍音 ⑤先取音 ⑥掛留音 ⑦保続音) から選び、
番号で答えなさい。



- 2) 上記楽曲を調号を用いず短2度下に移調しなさい。

声楽専攻、器楽専攻（弦楽器・管打楽器）、
作曲指揮専攻（作曲「ミュージック・メディアコース」）、
音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻



器楽専攻（鍵盤楽器）、作曲指揮専攻（作曲「芸術音楽コース」・指揮）

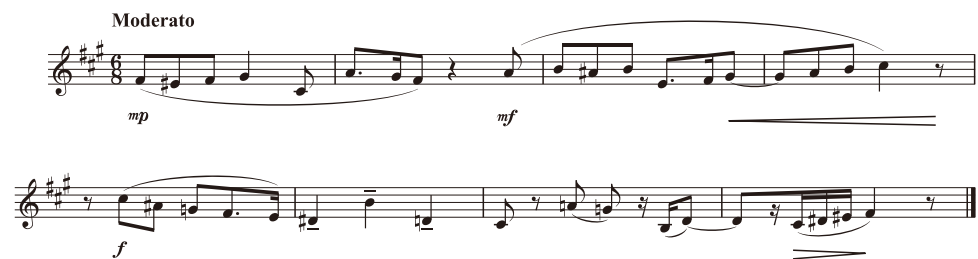


新曲視唱

声楽専攻、器楽専攻（弦楽器・管打楽器）、
作曲指揮専攻（作曲「ミュージック・メディアコース」）、
音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻



器楽専攻（鍵盤楽器）、作曲指揮専攻（作曲「芸術音楽コース」・指揮）



新曲視唱

声楽専攻、器楽専攻（弦楽器・管打楽器）、
作曲指揮専攻（作曲「ミュージック・メディアコース」）、
音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻



器楽専攻（鍵盤楽器）、作曲指揮専攻（作曲「芸術音楽コース」・指揮）



聴 音

共通問題



専攻別

声楽専攻、器楽専攻（弦楽器・管打楽器）、
作曲指揮専攻（作曲「ミュージック・メディアコース」）、
音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻



専攻別

器楽専攻（鍵盤楽器）、作曲指揮専攻（作曲「芸術音楽コース」・指揮）



聴 音

共通問題



専攻別

声楽専攻、器楽専攻（弦楽器・管打楽器）、
作曲指揮専攻（作曲「ミュージック・メディアコース」）、
音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻



専攻別

器楽専攻（鍵盤楽器）、作曲指揮専攻（作曲「芸術音楽コース」・指揮）



聴 音

共通問題



専攻別

声楽専攻、器楽専攻（弦楽器・管打楽器）、
作曲指揮専攻（作曲「ミュージック・メディアコース」）、
音楽文化教育専攻、吹奏楽アカデミー専攻



専攻別

器楽専攻（鍵盤楽器）、作曲指揮専攻（作曲「芸術音楽コース」・指揮）



2026年度 総合型選抜問題
打楽器 簡単な初見演奏

ティンパニ

in E & A
♩ = 60

ff dim. poco a poco p mf p sub. f sf

小太鼓

♩ = 100

f mp cresc. f dim. mp

マリンバ

♩ = 80

mf mf mf

2026年度 一般選抜(A日程)問題
打楽器 簡単な初見演奏

小太鼓

♩ = 72

f poco a poco mf poco a poco

マリンバ

♩ = 60

mf mf mf

作曲

作曲「芸術音楽コース」作曲実技

和声 バス課題（2時間）

次のバス課題を四声体で実施しなさい。

和声 ソプラノ課題（2時間）

次のソプラノ課題を四声体にしなさい。

Allegretto

作曲「芸術音楽コース」／ミュージック・リベラルアーツ（作曲）作曲実技

創作課題（5時間）

①～⑤の旋律断片からひとつを選び、それを用いて楽曲を作りなさい。

（楽曲編成・曲の長さは自由。テンポを指定すること。）

①

②

③

④

⑤

次のバス課題を四声体で実施しなさい。

The musical score for 'The Rose Tree' is written in bass clef with a key signature of two flats (B-flat and E-flat) and a common time signature (C). The melody is presented on five staves. The first staff begins with a treble clef and a 6/8 time signature, indicating a change in the vocal line. The melody is characterized by a slow, descending line with many ties, suggesting a lullaby-like quality. The piece concludes with a double bar line on the fifth staff.

①

②

③

④

⑤

作曲

作曲「ミュージック・メディアコース」小論文（60分）

大きな災害やパンデミックなど、社会的困難な状況において、音楽はどのような役割を果たすことができるか、意見を述べなさい。

そして、あなたが「商業音楽の作曲家」を目指すにあたり、そのような社会的困難な状況において、特に商業音楽にどのようなことができると思うのかを論じつつ、あなた自身はどのようなメッセージや想いを込めて社会に音楽を送り出していきたいのか、具体的な事例や自身の経験などをもとに、述べなさい。

作曲

作曲「ミュージック・メディアコース」作曲実技

和声（60分）

次の＜バス課題＞と＜ソプラノ課題＞からどちらかを選ぶこと。

バス課題 四声体に完成しなさい。



ソプラノ課題 四声体に完成しなさい。



作曲

作曲「ミュージック・メディアコース」作曲実技

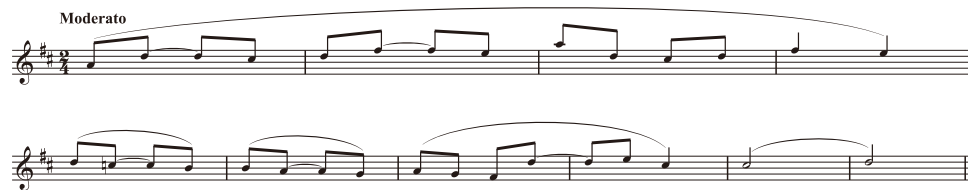
和声 バス課題（和声ソプラノ課題と併せて2時間）

次のバス課題を四声体に完成しなさい。



和声 ソプラノ課題

次のソプラノ課題を四声体に完成しなさい。



作曲

作曲「ミュージック・メディアコース」作曲実技

伴奏付け（60分）



作曲

作曲「ミュージック・メディアコース」小論文(60分)

現在のポピュラー音楽の作曲方法は、楽器での作曲だけでなく、DAWでの打ち込みや、サンプリング、AIの利用など、さまざまな方法が用いられています。あなたがこれまでに会ってきた音楽や作曲の経験を具体的に挙げつつ、これまでの自分の音楽の歩みが、今後どのような作曲方法に結びついていくと考えているか述べてください。

そのうえで、大学でポピュラー音楽の作曲を学ぶことで、どのような作曲力を身につけたいかを述べてください。

作曲「ミュージック・メディアコース」作曲実技

和声 バス課題(和声ソプラノ課題と併せて2時間)

次のバス課題を四声体で実施しなさい。



和声 ソプラノ課題

次のソプラノ課題を四声体で実施しなさい。



作曲「ミュージック・メディアコース」作曲実技

伴奏付け(60分)



作曲

作曲「ミュージック・メディアコース」小論文(60分)

あなたが最近聴いて感銘を受けた商業音楽の楽曲(歌、劇伴※、CM、ゲームなど)を1曲挙げ、その楽曲のイメージや構成、楽器編成や映像との関わり、などについてあなたなりに解説しつつ、なぜ感銘を受けたのか述べてください。

そして、あなたが作曲家を目指す中で、リスナーに感銘を与える楽曲を制作するためには、どのような勉強が必要だと思うのか、述べてください。

(※ドラマや映画の作品で、シーンに合わせて制作される劇中音楽のこと。)

作曲「ミュージック・メディアコース」作曲実技
和声 バス課題 (和声ソプラノ課題と併せて2時間)

次のバス課題を四声体で実施しなさい。



和声 ソプラノ課題

次のソプラノ課題を四声体で実施しなさい。

作曲「ミュージック・メディアコース」作曲実技
伴奏付け(60分)

作曲指揮専攻 指揮

聴音



Andantino (♩=72)

Flute *mp*

Clarinet *mp*

Horn *mp*

Bassoon *mp*

mf

mf

f *p*

p *p*

p

作曲指揮専攻 指揮

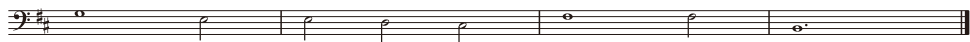
新曲視唱

Moderato



和声 (60分)

バス課題 次のバス課題を四声体で実施しなさい。



ソプラノ課題 次のソプラノ課題を四声体で実施しなさい。



小論文 (60分)

1. 本校を志望した理由を述べなさい。
2. 近年、デジタル技術の急速な発展により、制作、発信、消費など音楽活動のあらゆる側面で変化が生じている。たとえば、AI による作曲、SNS や動画発信プラットフォームを通じた個人の表現機会の拡大、ジャンルや国境を越えたコラボレーションの多様化などがその一例として挙げられる。こうした動向を踏まえ、日本の音楽活動において、現在と未来の間にどのような違いが生まれると考えられるか、論じなさい。そのうえで、あなた自身が将来どのように活動していきたいか、今後の展望を述べなさい。

聴音



Moderato cantabile

Flute *p dolce*

Clarinet *p*

Horn *p*

Bassoon *p*

mf

mf

mf

mf

sf *p* *sf* *p* *sf* *p* *sf* *p*

新曲視唱

Moderato

mf

f

mp

f

p

和声 (60分)

バス課題 次のバス課題を四声体で実施しなさい。

ソプラノ課題 次のソプラノ課題を四声体で実施しなさい。

作曲指揮専攻 指揮 ミュージック・リベラルアーツ専攻 指揮

小論文 (60分)

1. あなたが本専攻を志望した理由について述べなさい。
2. あなたが今後どのような指揮者・音楽家になりたいと考えているか、述べなさい。

Essay Questions (60 minutes)

1. State your reasons for applying to this major.
2. Describe the kind of conductor or musician you aspire to become in the future.

ミュージック・リベラルアーツ専攻 指揮[課題A]

聴音



新曲視唱



和声 (30分)

バス課題

次のバス課題を四声体で実施しなさい。



音楽文化教育専攻

英語課題（事前提出）

設問について英語で解答しなさい。

問題：あなた自身と音楽との関わりについて、以下の4項目を全て取り入れ、英語で説明してください。

（400語以上、800語程度。提出の仕方、フォーマットは指示に従うこと）

- 1 あなた自身と音楽との出会い、体験について。
- 2 好きな音楽のジャンル、アーティスト等について。
- 3 将来、希望する音楽との関わり方について。
- 4 大学で学びたいことについて。

音楽文化教育専攻

論文課題（90分）

以下の文を読んで、問に答えなさい。

音楽はクラシックやジャズ、ポップスだけでなく、アニメやゲームの音楽、地域の伝統音楽や学校の部活動など、私たちの身のまわりにさまざまなかたちで存在しています。インターネットやSNSを通じて世界中の音楽にふれることもでき、国や世代を超えて人々をつなぐ力をもっています。その一方で、音楽の価値や役割は人によって感じ方が異なり、ときには「自分にとって大切な音楽」が社会では十分に理解されないこともあります。こうした多様な音楽文化をどう理解し、どのように他者と分かち合うかは、現代社会において重要な課題のひとつといえるでしょう。

問 あなたにとって「音楽文化」とは何を意味しますか。また、それが他の人々や社会とどのようにつながっていると考えますか。あなた自身の体験や具体的な事例を交えて、1200～1600字程度で述べなさい。

音楽文化教育専攻

小論文（60分）

以下の文を読んで、問いに答えなさい。

1877年にエジソンが録音機を発明するまで、音楽は演奏してすぐに消えてしまうものであり、音の保存は不可能だったが、録音機が発明によって演奏した音そのものを保存できるようになった。それによって、音楽の様々な面に大きな変化が生じたのだが、録音技術の利用方法に注目すると、「演奏」の領域だけを見ても、様々な状況が考えられる。主だったものを挙げてみよう。

- ①録音による演奏（練習）の確認。自分の演奏（練習やレッスンの様子）を録音しておくことによって、後で客観的に確かめることができる。
- ②録音物との共演。カラオケに代表されるように、録音物を共演者（伴奏）として演奏することができる。
- ③録音を目的とした演奏。録音することを目的に演奏する場合もある。それをCDとして販売したり、SNSにアップロードすることによって収益を得る可能性もある。
- ④編集の可能性。生演奏の場合は、演奏した音がそのまま聴取者に届くが、録音を通してなら何度でも撮りなおすことができるし、編集をして（実際には演奏していない）理想的な音楽を創り出すこともできる。
- ⑤録音物による自動演奏。再生装置を用いることによって、録音した演奏を時と場を選ばずに、長時間流し続けることができる。

上に挙げた録音技術の5つの利用法（①演奏の確認、②録音物との共演、③録音を目的とした演奏、④編集の可能性、⑤自動演奏）から1つを選び、音楽演奏に関わる録音技術利用の可能性と限界、危険性について、あなたの考えを述べなさい。その際に、必ずあなたの経験を含めて説明すること。

（800字程度）

音楽文化教育専攻

論文課題（90分）

次の文を読んで以下の問いに答えなさい。

「音楽(music)」は人類共通の文化の一つである。実際、地球上のいずれの地域の人々にも、社会のいずれの層の人々にも「音」を使う文化が存在する。しかし、「音」を「音楽」にするための考え方や方法はそれぞれに異なっている。そのため、人類は「複数の音楽(musics)」を所有すると考えられている。

このため、自らが習ったことも聞いたこともない音楽に触れる際、その「音楽」を理解し受け入れることが困難になる場合もある。これは、習ったことも聞いたこともない言語に触れる場合と似ている。逆に、その違いや理解できないことこそが要因となり、その音楽を好きになる場合もある。

問 ここ数年、異なる文化を持つ人々の間や、社会内の異なる人々の間で理解が進まない状況が進んでいることから、「世界の分断が進んでいる」とも言われている。ここに述べたような「音楽」の性質を前提にしながら、「世界の分断」を回避するまたは軽減するために、音楽にどのような役割があるのかないのかを1200～1600字程度で述べなさい。その際、具体的な事例を明確に述べながら、結論を導いた理由や、根拠も示しなさい。

音楽文化教育専攻

小論文（60分）

以下の文を読んで、問いに答えなさい。

令和5年12月22日、「こどもの居場所づくりに関する指針」が閣議決定されました。この指針は、こども・若者の声を聴き、こども・若者の視点に立った居場所づくりを推進していくための政策上の根拠となるもので、指針に書かれている内容を基に、全国でこどもの居場所づくりの取組が推進されることとなりました。

例えば、学校や家庭に居場所がないと感じる子どもたちや、虐待や不登校、いじめ、教育格差、貧困、ヤングケアラー等の喫緊の課題を抱える子どもたちの受け皿となる場所・活動として、音楽分野では、楽器に自由に触れる場の定期的な提供、地域の音楽団体(地域のお囃子等の伝統音楽の伝承団体も含む)への参加や交流の機会の提供という形で、子どもたちが生活する地域の中で、自分らしく輝き、安心して成長できる「こどもの居場所」が用意されています。

以上を踏まえて、

- ①対象を中学生・高校生に絞り、「中学生・高校生の居場所づくり」のための、音楽を中心に据えた取り組みを一つ提案してください。
- ②その取り組みが特に中学生・高校生に必要であると思う理由と、それに対して音楽がどのような効果を持つと考えるか書いてください。

(800字程度)

音楽文化教育専攻

小論文(60分)

以下の文を読んで、問いに答えなさい。

著作権の都合により問題文は掲載しておりません。

【問題文・以下の出典より 550 語程度を抜粋・要約・翻訳】

Natalie Proulx “Should All Schools Offer Music Programs?”
(*The New York Times Learning Network*, May 17, 2018)

【問題】

上記資料を踏まえ、日本の公教育において音楽教育を必修とすることの意義と課題について、あなたの考えを論じなさい。

(800 字程度)

吹奏楽アカデミー専攻

面接および口述試問(楽典)

※ 実際の読み上げ文章とは異なる。

○次の音程の転回音程を答えよ。

- A. 完全5度
- B. 長3度
- C. 減7度

○次の2つの和音の種類を答えよ。

また、右側(E)の和音については所属する長調も1つ答えよ。

(和声短音階で考えること)

D.



E.



○次の調名を答えよ。

- F. Es durの平行調
- G. B durの下属調

○次の楽語の意味を答えよ。

- H. rallentando
- I. semplice
- J. dal segno
- K. doloroso

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

論文課題（10月実施）

(90分)

10年後、現在よりもAIとロボットが社会のあらゆる分野で人間と協働する時代が到来すると予測されています。このとき、人間が果たすべき役割はどのように変化すると考えますか。あなたの考えを、具体的な事例や根拠とともに1,200～1,600字程度で述べなさい。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

小論文

(60分)

これまでの人生の中で、日本に関心を持つきっかけとなった出来事や経験を具体的に述べ、その経験があなたの将来の目標や進路にどのように影響しているかを説明しなさい。本学での学びがその目標にどのように役立つかについても書きなさい。

あなたの意見をなるべく具体的に800字程度で述べなさい。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

論文課題（11月実施）

(90分)

オンライン配信サービスの普及により、音楽や映像作品の収益構造が大きく変化しました。この変化はクリエイターやレコード会社にどのような影響を与えていると考えますか。また、健全な音楽ビジネスの発展にはどのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの意見を具体的に1,200～1,600字程度で述べなさい。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

数学（60分）

Ⅰ つぎの問いに答えなさい。

(1) つぎの2次関数に最大値、最小値があれば、それを求めなさい。

$$y = -x^2 + 2x - 3$$

(2) $x + \frac{1}{x} = 3$ のとき

(a) $x^2 + \frac{1}{x^2}$ の値を求めなさい。

(b) $x - \frac{1}{x}$ の値を求めなさい。

(3) $|2x + 5| < 2$ を解きなさい。

(4) 1から100までの整数において、つぎのような数は何個ありますか。

(a) 8の倍数

(b) 12の倍数

(c) 8でも12でも割り切れない数

(5) 10進数103を、

(a) 2進法

(b) 7進法

で表しなさい。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

数学(60分)

Ⅱ 2個のさいころを同時に投げるとき、つぎの確率を求めなさい。

- (1) 大きい目から小さい目を引いた差が3になる確率
- (2) 目の積が6になる確率

Ⅲ 初項が5、公差が4の等差数列がある。
この数列について、つぎの各問いに答えなさい。

- (1) 一般項 a_n を求めなさい。
- (2) 第何項が初めて100より大きくなりますか。
- (3) 第1項から第20項までの和を求めなさい。

Ⅳ 直線 $\ell_1: y = 3x + 3$ 、直線 $\ell_2: y = -x + 2$ 、直線 $\ell_3: y = x$ がある。

- (1) (a) 直線 ℓ_1 と ℓ_2 との交点Aの座標を求めなさい。
(b) 直線 ℓ_1 と ℓ_3 との交点Bの座標を求めなさい。
(c) 直線 ℓ_2 と ℓ_3 との交点Cの座標を求めなさい。
- (2) 3つの交点A, B, Cから出来る三角形の重心Gの座標を求めなさい。
- (3) 3つの点A, B, Gから出来る三角形の面積は三角形ABCの面積の何分のいくつですか。

小論文(60分)

現在はさまざまなAIによるサービスが提供されており、音楽分野でも自動作曲や歌詞作成などを中心に多様なサービスがあります。あなたが考えるその良い面と悪い面を述べなさい。また自動作曲や歌詞作成以外に音楽に対するどのようなAIの活用が可能だと思いますか？自動作曲や歌詞作成以外の音楽に対するAIの活用の可能性をできるだけ具体的に述べなさい。記述は全体で800字程度とします。

Ⅰ つぎの問いに答えなさい。

- (1) つぎの2次関数に最大値、最小値があれば、それを求めなさい。

$$y = x^2 - 4x - 4$$

- (2) 集合 $A = \{1, 3, 5, 7\}$, $B = \{0, 1, 2, 3\}$ がある。

- (a) $A \cap B$ を求めなさい。
- (b) $A \cup B$ を求めなさい。

- (3) (a) $(a + 3)^3$ を展開しなさい。
(b) $x^2 + 7x + 10$ を $x + 2$ で割ったときの商と余りを求めなさい。

- (4) 1から100までの整数において、つぎのような数は何個ありますか。

- (a) 2の倍数
- (b) 9の倍数
- (c) 2と9の少なくとも一方で割り切れる数

- (5) 10進数126を、

- (a) 2進法
- (b) 5進法

で表しなさい。

Ⅱ 2個のさいころを同時に投げるとき、つぎの確率を求めなさい。

- (1) 目の和が5または6になる場合の数は何通りありますか。
- (2) 目の和が5または6になる場合の確率を求めなさい。
- (3) 目の積が6になる確率を求めなさい。

英語

(60分)

Write your answers on the separate answer sheet.

かいとう かいとうようし
解答は解答用紙に記入すること。

Ⅲ 初項が $\frac{1}{1 \times 2}$ 、第2項は $\frac{1}{2 \times 3}$ 、第 n 項は $\frac{1}{n(n+1)}$ と表される数列がある。

この数列について、つぎの各問いに答えなさい。

(1) 初項は $\frac{1}{1 \times 2} = \frac{1}{1} - \frac{1}{2}$ と表される。第2項は初項と同様に

$$\frac{1}{2 \times 3} = \frac{p}{2} - \frac{q}{3}$$

と書ける。 p 、 q はどのような数字ですか。

(2) 同様に第 n 項も

$$\frac{1}{n(n+1)} = \frac{r}{n} - \frac{s}{n+1}$$

と書ける。 r 、 s はどのような数字ですか。

(3) 初項から第 n 項までの和を簡単な式で表しなさい。

(4) 初項から第 n 項までの和が $\frac{3}{4}$ になるのは第 n 項までの和ですか。

Ⅳ 2次方程式がつぎのように与えられている。

$$4x^2 + (m-1)x + 1 = 0$$

(1) この2次方程式が重解を持つように、定数 m の値を定めなさい。

(2) 定数 m に対する重解を求めなさい。

小論文 (60分)

音楽ストーリーミングサービスは、再生履歴やユーザー行動データをもとに楽曲を推薦しています。こうしたレコメンド機能は、音楽の多様性や新しいアーティストの発掘にどのような影響を与えるでしょうか。利点と課題を論じてください。記述は全体で800字程度とします。

I. Choose your answer from (a) to (d) to complete the sentence, and write the letter of your choice in the answer box.

(1) I will call you as soon as I _____ home.

(a) will get (b) got (c) get (d) getting

(2) She is the most talented singer I have _____ heard.

(a) even (b) never (c) always (d) ever

(3) If I _____ enough time, I would join the volunteer group.

(a) have (b) had (c) will have (d) was having

(4) My father let me _____ his car last weekend.

(a) drive (b) driving (c) to drive (d) drove

(5) The concert was canceled _____ the bad weather.

(a) because (b) due to (c) although (d) while

(6) I met a girl _____ brother is studying music in Vienna.

(a) who (b) whom (c) whose (d) her

(7) You should take a break. You've been working too hard, _____ you?

(a) aren't (b) haven't (c) don't (d) won't

(8) The movie was so _____ that I couldn't help falling asleep.

(a) exciting (b) surprising (c) boring (d) scary

(9) You won't improve your English skills _____ you practice every day.

(a) if (b) until (c) by (d) unless

(10) The company plans to _____ a new product next month to attract more customers.

(a) conduct (b) save (c) launch (d) motivate

II. Choose your answer from (a) to (d) to complete the conversation, and write the letter of your choice in the answer box.

(1) A : Professor, I'm so sorry I missed class this morning.

B : You usually attend, so I was a bit concerned.

A : I'm sorry. ()

B : I see. I'll email the assignment to you later.

(a) The traffic was heavy so that I arrived at campus too late.

(b) I was late to campus, so the traffic was heavy.

(c) The traffic was heavy, and then I was late to campus.

(d) I was late to campus because the traffic was heavy.

(2) A : I have a history test today.

B : You don't seem too thrilled about it.

A : I just don't see the point of studying history.

B : ()

(a) You should read the book and then you'll be ready.

(b) We can actually learn a lot from past events, you know.

(c) I actually agree. I think history is fascinating.

(d) I think you should take the test again.

(3) A : What's wrong?

B : I need some advice. I broke a vase in the hallway, but didn't tell anyone.

A : You know the old saying: ()

(a) Birds of a feather flock together.

(b) Honesty is the best policy.

(c) Practice makes perfect.

(d) A bird in the hand is worth two in the bush.

(4) A : I called you three times yesterday!

B : Really? I wasn't at home.

A : ()

(a) Well, why didn't you return my phone calls?

(b) Well, why didn't you refuse my phone calls?

(c) Well, you could have at least asked for my phone number.

(d) Well, what about the day after tomorrow?

III. Read the article below and statements 1-10. Write T if the statement is true, and F if false.

著作権の都合により問題文は掲載しておりません。

【問題文・以下の出典より 390 語程度を引用】

Source: AFP, 'Japan's grand tea master Sen Genshitsu dies at 102: reports,' *msn*, 14 August, 2025, <https://www.msn.com/en-us/news/world/japans-grand-tea-master-sen-genshitsu-dies%20at-102-reports/ar-AA1KvKrk>.

(1) Sen Genshitsu is a survivor of World War II.

(2) Sen offered his tea ceremony services exclusively in Japan, the country where the tradition was nurtured.

(3) Sen served tea to some kamikaze pilots during the war.

(4) Sen was not only a tea master but also a Zen monk.

(5) At the age of 102, Sen completely retired from his public activities.

(6) People called Sen the "Flying Grand Master" because he used to be a pilot.

(7) Sen became the 15th-generation head of the Urasenke school after his grandfather passed away.

(8) Sen received cultural honours not only from Japan but also from France.

(9) Sen offered his tea ceremony to world leaders, including Barack Obama.

(10) The Urasenke school immediately released a public statement after Sen's death.

IV. Do you know a famous person who contributed to world peace? What did they do, and what can we learn from their actions? Write in about 150-200 words.

英語

(60分)

I. Choose your answer from (a) to (d) and write the letter of your choice in the answer box below.

以下の(a)～(d)から選択肢を選び下の解答欄に記入してください。

- (1) I didn't recognize her at first because it () over ten years since we last met.
(a) is (b) has been (c) had been (d) will be
- (2) The report must be submitted () Friday at the latest.
(a) by (b) until (c) to (d) since
- (3) Not only the students but also the teacher () confused by the new system.
(a) are (b) is (c) were (d) have been
- (4) I have a friend () father is an architect.
(a) that (b) whom (c) who (d) whose
- (5) The event was cancelled () the heavy snow.
(a) because (b) due to (c) although (d) despite
- (6) She kept practicing the piano, () she was feeling exhausted.
(a) unless (b) though (c) otherwise (d) therefore
- (7) The more carefully you listen, the () you will understand the music.
(a) good (b) well (c) better (d) best
- (8) My piano teacher is very (); she always comes to class right on time.
(a) arrival (b) gradual (c) internal (d) punctual
- (9) He apologized () being late for the rehearsal.
(a) at (b) for (c) with (d) to
- (10) If she () the email more closely, she wouldn't have misunderstood the situation.
(a) reads (b) had read (c) would read (d) has read

II. Choose your answer from (a) to (d) to complete the conversation, and write the letter of your choice in the answer box below.

(a)～(d)から会話文にふさわしい選択肢を選び、下の解答欄に記入してください。

- (1) A : You look exhausted. What happened?
B : I stayed up late finishing a report.
A : ()
B : I know. I should manage my time better.
(a) You're always lucky.
(b) That explains it. You should get some rest.
(c) What were you writing about?
(d) Why did you go to bed so early?
- (2) A : Have you decided whether to join the club?
B : I'm still not sure. I don't know anyone there.
A : ()
B : That's true. I guess I could give it a try.
(a) Then you should avoid meeting new people.
(b) Clubs are a waste of time anyway.
(c) It's better to stay alone.
(d) You can always quit if it doesn't work out.
- (3) A : I failed my driving test again.
B : Oh no, that must be frustrating.
A : Yeah, I'm starting to lose confidence.
B : () Practice will make a difference.
(a) Everyone passes on the first try.
(b) Maybe driving just isn't for you.
(c) You shouldn't give up.
(d) You must be feeling relieved.

(4) A : This Thai restaurant is really popular. I didn't expect such a long line.

B : Me neither, but people say the food is excellent.

A : ()

B : Yeah, why not? We've already waited this long.

(a) Let's wait a little more, then.

(b) We shouldn't waste our time.

(c) Really? I didn't know that.

(d) But you're not a big fan of spicy food, are you?

Ⅲ. The following text is excerpted from an article about TAKASHii, a Japanese YouTuber who conducts street interviews in English. Read statements (1) – (10), and write T if the statement is true and F if it is false.

以下の文章は、日本について街頭インタビューをしている YouTuber TAKASHii さんについての記事から抜粋したものです。

(1)～(10)の文を読み、文章の内容に合っていれば T を、間違っていれば F を書きなさい。

著作権の都合により問題文は掲載しておりません。

【問題文・以下の出典より 390 語程度を引用】

Source: Kaori Shoji, "Reaching for the sky with feet on the ground", *Japan Times Alpha* (January 2, 2026), <https://alpha.japantimes.co.jp/article/interview/20260102/131133/>, accessed January 10, 2026.

deter*¹: 思い留まらせる rep*²: 担当者 go to one's head*³: うぬぼれさせる

delve*⁴: 探求する

(3) Takashii's YouTube channel targets viewers who are interested in Japan but do not speak Japanese.

(4) Takashii studied abroad at an international school before starting his YouTube career.

(5) Takashii conducts street interviews in English with both Japanese people and foreigners.

(6) Takashii's original plan to study in Los Angeles was canceled due to the COVID-19 pandemic.

(7) After his study-abroad plan failed, Takashii chose not to pursue content creation any further.

(8) Takashii believed that there were few Japanese creators providing Japan-related content for overseas audiences online.

(9) Takashii believes creating English-language content is more achievable than many people assume.

(10) Takashii wants to become famous as quickly as possible and expand his channel mainly for personal recognition.

Ⅳ. Follow the instructions below and write your answer in English.

以下の指示に従って、英文を書いてください。

YouTube is widely used by people of all ages. In about 150 words, discuss the advantages and disadvantages of watching or using YouTube in daily life, using specific examples. You may include your own experience if relevant.

(1) In the past, Japanese YouTubers were popular not only in Japan but also among people overseas.

(2) One factor limiting the international reach of Japanese YouTubers is the language used in their content.

英語

(60分)

I. Choose your answer from (a) to (d) and write the letter of your choice in the answer box below.

以下の(a)～(d)から選択肢を選び下の解答欄に記入してください。

- (1) Mozart () his first symphony when he was only eight years old.
(a) writes (b) wrote (c) has written (d) will write
- (2) The start of the rehearsal was delayed () the heavy rain.
(a) although (b) because (c) because of (d) since
- (3) You () finish the report today. The deadline is next week.
(a) must not (b) don't have to (c) cannot (d) shouldn't
- (4) She practices the violin every day () she can improve her technique.
(a) so (b) such (c) that (d) which
- (5) The new city hall() was built last year, can hold 2,000 people.
(a) that (b) what (c) which (d) where
- (6) My friend Nao is one of the kindest () I've ever met.
(a) student (b) person (c) human (d) people
- (7) If I () more time, I would join the orchestra.
(a) have (b) had (c) have had (d) will have
- (8) Taro and James competed for the solo part, but () of them was chosen.
(a) neither (b) either (c) both (d) each
- (9) She could () hear the teacher's instructions because the class was so noisy.
(a) nearly (b) almost (c) hardly (d) mostly
- (10) The audition will () next Thursday.
(a) bring about (b) take place (c) look after (d) put off

II. Choose your answer from (a) to (d) to complete the conversation, and write the letter of your choice in the answer box below.

(a)～(d)から会話文にふさわしい選択肢を選び、下の解答欄に記入してください。

- (1) A : Are you ready for the presentation tomorrow?
B : Not really. I'm still nervous.
A : ()
B : Thanks. I'll try to stay calm.
(a) You shouldn't have prepared.
(b) Don't worry. You've practiced enough.
(c) Why are you so confident?
(d) You must cancel it.
- (2) A : Did you enjoy the concert last night?
B : Yes, especially the final piece.
A : ()
B : The flute solo was amazing.
(a) What did you like about it?
(b) Who did you go with?
(c) How long was it?
(d) Why did you leave early?
- (3) A : I can't find my student ID anywhere.
B : Did you check your bag?
A : Yes, I did.
B : ()
A : Yeah, I'll go there now.
(a) You don't have to worry. You'll find it.
(b) Someone might have found it. You should ask the office.
(c) You can't have lost it. Check your bag again.
(d) You can ignore it. You won't need it anytime soon.

(4) A : I've been trying to fix this app for hours, but it still doesn't work.

B : Why don't you ask Ken? He's good with technology.

()

A : That's true. He usually finds the problem quickly.

(a) I'm not sure whether he wants to get involved in something like this.

(b) I don't think you need his help right now.

(c) He might be able to figure out what's causing the problem.

(d) I'd rather replace my phone instead of trying anything else.

III. The following text is about Nakamura Kan-Gyoku, a young kabuki actor. Read statements (1) – (10), and write T if the statement is true and F if it is false.

以下の文章は、歌舞伎俳優の中村蒼玉さんについて紹介したものです。

(1)～(10)の文を読み、文章の内容に合っていれば T を、間違っていれば F を書きなさい。

著作権の都合により問題文は掲載しておりません。

【問題文・以下の出典より 440 語程度を引用】

Source: 'Kabuki's adopted son: How a theater outside became a rising star,' *NHK WORLD-JAPAN NEWS*, <https://www.youtube.com/watch?v=AyEuLCI6VdE&list=PLnA8CyVC-muItJT8UjoDdhIYHgMPOBz1p>, accessed 22 January 2026.

apprentice*1 : 弟子 hereditary*2 : 世襲の

(5) Bai-Gyoku was initially uncertain whether Kan-Gyoku's enthusiasm for kabuki would last.

(6) When Kan-Gyoku entered the kabuki world, he felt completely equal to those born into kabuki families.

(7) Since Kan-Gyoku is not Bai-Gyoku's biological son, he cannot succeed him in the future.

(8) Before 2019, it had been nearly three decades since someone outside a kabuki family became an adopted heir.

(9) According to Bai-Gyoku, Kan-Gyoku's technical skills are his greatest strength as an actor.

(10) Speaker A refers to Nakamura Kan-Gyoku.

IV. Follow the instructions below and write your answer in English.

以下の指示に従って、英文を書いてください。

In some fields, such as politics, business, and traditional arts, positions are sometimes passed down within families. In about 150 words, discuss the advantages and disadvantages of this system. Give specific reasons and examples.

(1) Kabuki has been performed for more than four centuries.

(2) In the Kabuki world, actors who are born into kabuki families are more likely to become kabuki actors and secure important roles in the future.

(3) Kan-Gyoku comes from a long line of kabuki performers.

(4) Kan-Gyoku first developed an interest in kabuki after frequently attending live performances with his parents.

日本語による小論文

(60 分)

大学入学後、在学中に日本で学びたいことや実現させたいことを三つあげ、その理由をそれぞれについて説明しなさい。合計800字前後

入学後の学修(実技・理論)の前提として必要となる基礎的な楽典の知識および理解度ををはかるものである。各大問ごとにそれぞれ「音程」「和音」「音階」「調性判定」「楽語」「非和声音と移調記譜」を重点的に問うているが、それ以外の記譜法や音部記号といった総合的な知識も求める設問としている。

2026年度 総合型選抜・外国人留学生選抜問題〈楽典〉模範解答

- I A)[長2度] B)[短3度] C)[減3度] D)[増1度] E)[長7度]
F)(短3度) G)(減5度) H)(長6度) I)(減2度) J)(完全1度)

II

①	②	③	④	⑤
F dur Es dur B dur g moll d moll	E dur e moll	G dur D dur h moll	d moll	a moll C dur

III

-
-
-
-
-

- IV 1)(a moll) 2)(h moll) 3)(B dur) 4)(Es dur) 5)(E dur)

- V ①(3) ②(8) ③(12) ④(13) ⑤(6)
⑥(14) ⑦(1) ⑧(2) ⑨(7) ⑩(5)

VI

- ⑦(6) ④(4)
-

- I A)[減8度] B)[短3度] C)[減2度] D)[長6度] E)[短7度]
F)(短6度) G)(増6度) H)(完全8度) I)(増2度) J)(減7度)

II

①	②	③	④	⑤

III

1)	2)
3)	4)
5)	

- IV 1)(g moll) 2)(h moll) 3)(Des dur) 4)(e moll) 5)(f moll)

- V ①(5) ②(19) ③(7) ④(16) ⑤(2)
⑥(14) ⑦(18) ⑧(4) ⑨(8) ⑩(10)

- VI 1) ㉞(4) ㉟(6)
2)

Andante

- I A)[完全5度] B)[短2度] C)[減3度] D)[増1度] E)[長6度]
F)(完全5度) G)(短6度) H)(増7度) I)(増2度) J)(長2度)

II

①	②	③	④	⑤

III

1)	2)
3)	4)
5)	

- IV 1)(A dur) 2)(Ges dur) 3)(f moll) 4)(C dur) 5)(cis moll)

- V ①(5) ②(2) ③(10) ④(19) ⑤(15)
⑥(9) ⑦(8) ⑧(14) ⑨(18) ⑩(12)

- VI 1) ㉞(4) ㉟(6)
2)

■新曲視唱

音程やリズムを正しく歌うだけでなく、テンポ、発想指示、ダイナミクス、アーティキュレーションなども含めて音楽表現ができるかどうかを問う課題である。楽譜を見て頭の中で音楽を鳴らし聴くこと、それを実際に声に出して歌唱することを求めている。

■聴音

演奏された旋律やハーモニーを聴き取り、それを楽譜に定着させる能力を問う課題である。音部記号、調号、拍子などの基礎的な記譜法を踏まえ、正しい音高およびリズムが譜面に書けるかどうかを判断する。

■器楽専攻（打楽器） 簡単な初見演奏

音楽を学び、楽曲の演奏をする上で、奏者が楽譜を読む能力をもつことは必要不可欠である。打楽器では、本学の合奏系授業などでも、折にふれ新しい楽譜に咄嗟に対応することが求められることもふまえ、本学入学を目指す受験生の読譜の基礎能力、また読譜した内容を実際に音にする上での対応力を備えているかどうかを確認するものである。

■ミュージック・リベラルアーツ（作曲）／ミュージック・リベラルアーツ（創作）口述試問

- ・作曲を志した動機、これまでの音楽経歴との関連などを問う。
- ・自作品の特徴などで主張したい点、また今後の創作の目標について問う。

■作曲「芸術音楽コース」和声課題

以下の各要素が課題実施に活かされているかを判断するための出題である。

（バス課題）

- ・課題の構成を把握できているか
- ・自然な和音進行・終止形の設定が確実にできているか
- ・転調および反復進行などの特徴を理解して実施されているか
- ・音楽的で自然なソプラノ声部が作られているか
- ・内声の動きが自然で各声部をうまくサポートすることができているか
- ・厳格バス課題などの場合、声部の組み合わせが成立しているか
- ・各声部の配置が適切にされているか

（ソプラノ課題）

- ・課題の調および構成を把握できているか
- ・自然な和音進行・終止形の設定が確実に実施されているか
- ・転調および反復進行などの特徴を理解して実施されているか
- ・外声間のバランスが適宜とれているか
- ・内声の動きが自然でかつ音楽的であるか
- ・非和声音の理解ができていて適切に課題に反映できているか
- ・旋律を生かすバス声部が作成できているか

■作曲「芸術音楽コース」／ミュージック・リベラルアーツ（作曲）創作課題

提示された旋律断片の特徴を理解し、どのように楽曲における展開が可能か判断すること。旋律の性格、動き、イントネーションや音域によってはその動向により設定する楽器を容易に決定することが可能な場合がある。

伴奏声部における和音設定や進行、また楽曲の長さや形式はもちろん作者の自由であるが、楽曲として十分説得力のあるものになっていることが望ましい。

■作曲「ミュージック・メディアコース」(小論文)

受験者が国境を越えて、日本の大学で学び、さらには研究活動をしていくにあたり、日本の音楽に影響を受けているかどうかなどを説明できるかを問うた。そのうえで、その影響を受けた音楽について、その理由を音楽的観点からの解説ができるかも併せて問うた。

そして、自分自身が日本の大学で学んでいくにあたり、自分に足りないことが何かや、知識として得たいもの、挑戦したいことなどを、具体的に解説し述べる必要がある。

2026年度 一般選抜(A日程)問題〈作曲〉出題意図

■作曲「ミュージック・メディアコース」(小論文)

頭角を表して久しい生成AI に対してどのような視点を持ち、また、将来的に自分自身が作曲家となった場合のAIとの関わり方のイメージを、日頃からどのように考えているかを説明できるかを問うた。

商業音楽の今後の構図として、「自分が作り出す音楽」と「AI が作り出す音楽」は、融合することもあれば、対峙することもあるであろうことが容易に予想されるなかで、なぜ作曲家を目指すのかという明確な意図を、具体例を用い説明し、現時点で思い描く将来のビジョンの展開を解説し述べる必要がある。

2026年度 一般選抜(B日程)問題〈作曲〉出題意図

■作曲「ミュージック・メディアコース」(小論文)

単なる楽曲の感想のみを問うものではなく、楽曲を構造的に分析し言語化できるかどうかを問うた。楽曲のイメージや構成、編成、映像との関係まで踏み込めるかどうかや、感性のみならず専門的視点をもって聴けているかを評価する。

また、「商業音楽」と明示していることから、楽曲がどのような目的や媒体の中で機能しているかを理解しているかも問うた。

さらに後半部分では、作曲家を目指す者としての自覚や、具体的な学習課題を考えられているかを通して、将来性や自己分析力を測る意図がある。

■作曲「ミュージック・メディアコース」和声課題

(バス課題)

- ・課題の調性や構成の把握ができているか。
- ・和声進行や終止形の設定が適切であるか。
- ・転調や借用和音を理解できているか。
- ・音楽的なソプラノ声部が作られているか。
- ・内声を適切に動かしているか。
- ・各声部の配置が適切であるか。

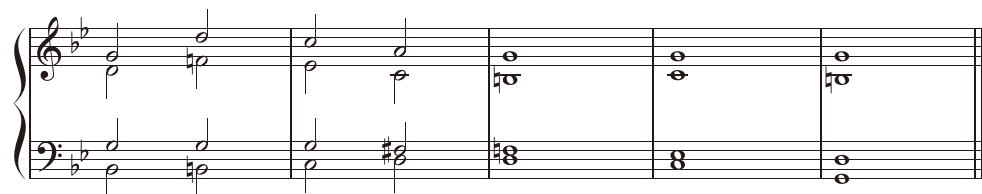
(ソプラノ課題)

- ・課題の調性や構成の把握ができているか。
- ・和声進行や終止形の設定が適切であるか。
- ・転調や借用和音を理解できているか。
- ・非和声音を理解できているか。
- ・バス声部や内声を音楽的、且つ適切に動かしているか。
- ・各声部の配置が適切であるか。

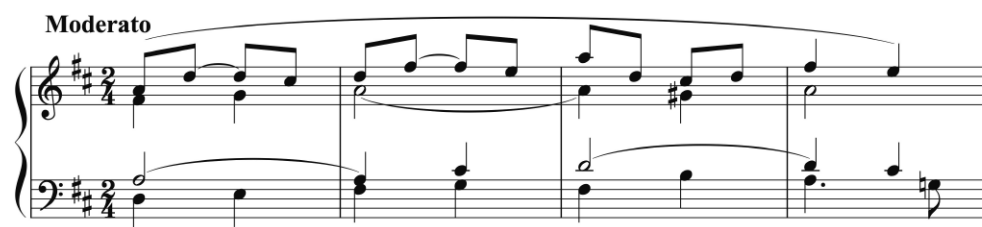
■作曲「ミュージック・メディアコース」伴奏付け

- ・課題の調性や構成の把握ができているか。
- ・課題の旋律に相応しい適切な和音を設定できているか。
- ・非和声音(テンション・ノート)を理解できているか。
- ・音楽的な伴奏を用いて、ピアノで演奏することができるか。
- ・テンション・ノートを含むコードネームを理解していることが望ましい。

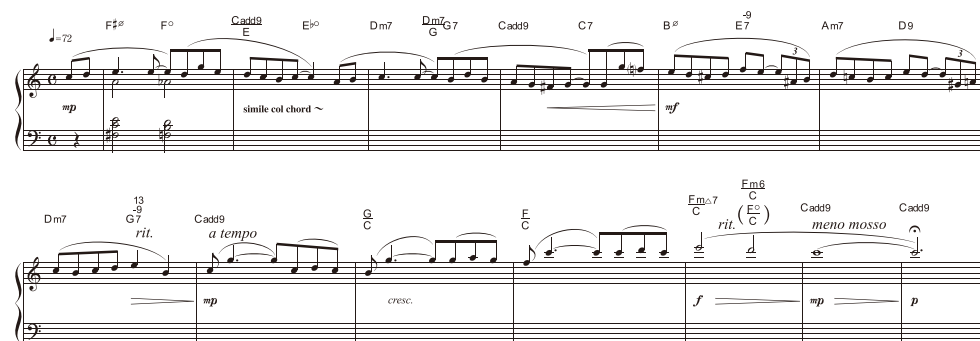
■作曲「ミュージック・メディアコース」(和声:バス課題)



■作曲「ミュージック・メディアコース」(和声:ソプラノ課題)

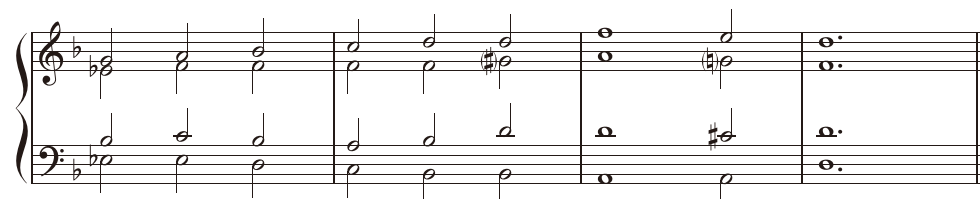
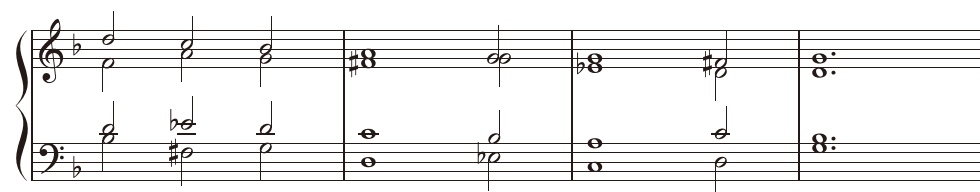
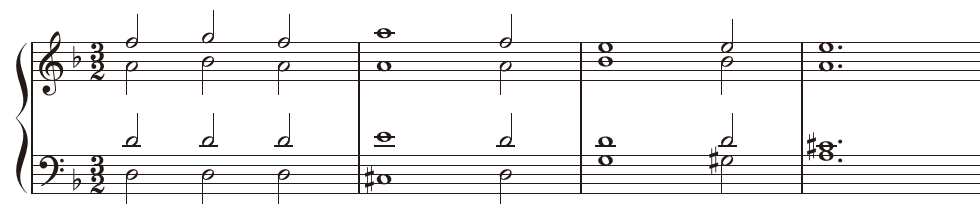


■作曲「ミュージック・メディアコース」(伴奏付け)



2026年度 一般選抜(A日程)問題〈作曲〉模範解答

■作曲「ミュージック・メディアコース」(和声:バス課題)



■作曲「ミュージック・メディアコース」(和声:ソプラノ課題)

Moderato

■作曲「ミュージック・メディアコース」(伴奏付け)

保続が望ましい

♩=72

F add9 Gm F C F add9 D F# Gm7 C7 A7 Dm7

simile col chord ~

G9 G#° A7sus4 A7 Dm A C# Dm C B° BbΔ7 C B°

(B° +11 -9 +9 E7 E7)

(G7 Gm7 C7 F C F7 BbΔ7 Gm7 C7)

*別解として、このように F dur でも取れるが d molli が望ましい

Am7 Ab° Gm9 BbmΔ7 Gm C C7 DbΔ7 Eb9 F add9 F add9

(F add9 Bb F Bbm F)

■作曲「ミュージック・メディアコース」(和声:バス課題)

■作曲「ミュージック・メディアコース」(和声:ソプラノ課題)

Moderato

■作曲「ミュージック・メディアコース」(伴奏付け)

2026年度 一般選抜(A・B日程)・外国人留学生選抜(秋学期入学)問題
〈指揮〉出題意図

■指揮／ミュージック・リベラルアーツ(指揮)小論文

指揮専攻を受験するに至った経緯や今後の目標などについて、自分をあらためて見つめ直しながら丁寧に論述できるかを問う課題である。

■指揮／ミュージック・リベラルアーツ(指揮)口述試問

自身の将来に向けた具体的な展望と、それに付随する努力のプロセス、および困難に立ち向かう覚悟を問う。また、対面での対話により、自己理解の深さと論理的な表現力を評価する。

■ミュージック・リベラルアーツ（指揮）〔課題A〕新曲視唱

音程やリズムを正しく歌うだけでなく、テンポおよび発想指示や、ダイナミクス、アーティキュレーションなども含めて音楽表現ができるかどうかを問う課題である。楽譜を見て頭の中で音楽を鳴らし聴くこと、それを実際に声に出して歌うことを求めている。

■指揮／ミュージック・リベラルアーツ（指揮）〔課題B〕新曲視唱

あらゆる音部記号を正しく読んだうえで、音程やリズムを正しく歌うだけでなく、テンポおよび発想指示や、ダイナミクス、アーティキュレーションなども含めて音楽表現ができるかどうかを問う課題である。楽譜を見て頭の中で音楽を鳴らし聴くこと、それを実際に声に出して歌うことを求めている。

■ミュージック・リベラルアーツ（指揮）〔課題A〕和声（バス）

調を正しく分析したうえで、和音の連結が理論と規則に則って解答されているかどうかを問う課題である。ソプラノ声部の動きが自然でかつ音楽的な起伏があるか、終止形が適切な位置に配置されているかなど、音楽表現として適した解答であることも求められる。

■指揮／ミュージック・リベラルアーツ（指揮）〔課題B〕和声（バス・ソプラノ）

調を正しく分析したうえで、和音の連結が理論と規則に則って解答されているかどうかを問う課題である。ソプラノ声部（またはバス声部）の動きが自然でかつ音楽的な起伏があるか、終止形が適切な位置に配置されているかなど、音楽表現として適した解答であることも求められる。

■ミュージック・リベラルアーツ（指揮）〔課題A〕聴音（単旋律・二声）

演奏された旋律を聴き取り、楽譜に定着させる能力を問う課題である。音部記号、調号、拍子などの基礎的な楽譜の書き方を踏まえたうえで、正しい音高やリズム等を譜面に書けるかどうかが重要である。

■指揮／ミュージック・リベラルアーツ（指揮）〔課題B〕聴音（単旋律・二声・木管四重奏）

演奏された旋律やハーモニーを聴き取り、楽譜に定着させる能力を問う課題である。音部記号、調号、拍子などの基礎的な楽譜の書き方を踏まえたうえで、正しい音高やリズム等を譜面に書けるかどうかが重要である。

■音楽文化教育専攻 口述試問

この口述試問は、受験者が音楽に対してどのような関心や基礎的な理解を持っているかを確認するとともに、それらをもとに自分の考えを整理し、口頭で分かりやすく伝える力を評価することを目的とする。

また、問いの内容を正しく理解し、自身の経験や関心に基づいて考えを広げていく力や、対話の中で考えを深めていく柔軟さについてもあわせて判断する。

このとき、現時点での能力だけでなく、音楽文化への関心の広がりや、今後の学びを通じて成長していく可能性といった将来への適性も重視する。

2026年度 総合型選抜問題〈音楽文化教育専攻〉出題意図

■音楽文化教育専攻 英語

本設問は、英語運用能力と自己表現力、さらに大学教育への適応力を総合的に測ることを意図した課題である。自分自身の経験や将来像を題材として、一定の分量の英語による文章を書く力を測定することを目的としている。

文法、語彙、構文の正確さや論理性など複数の観点を統合しながら、自分の考えを英語で適切に表現できるか、また、段落構成、論理展開、接続表現などを用いたまとまりのある長文を書く能力を評価する。

■音楽文化教育専攻 論文課題

本問題は、受験生が「音楽文化」という概念をどのように理解しているかを問い、その理解を自身の体験や具体的な事例を通して説明することを求めるものである。また、個人の経験にとどまらず、音楽文化が他者や社会とどのように関わるのかについて考察し、自らの考えを論理的に構成できるかを確認することを目的としている。

評価にあたっては、音楽文化についての着眼点、具体的な経験や事例の適切な選択、それらを論理的に説明する力に加え、日本語による文章表現の明確さを総合的に判断する。

■音楽文化教育専攻 小論文

問題文（特に5種の利用法について）を正しく理解しているか。

自己の経験に適切に触れているか。

可能性あるいは危険性のいずれかではなく、双方について論理的に説明できているか。

日本語の運用能力に問題はなにか。

2026年度 学校推薦型選抜問題〈音楽文化教育専攻〉出題意図

■音楽文化教育専攻 論文課題

人間が持つ音楽は、それを生み出す人々の文化、また社会の構成グループにより、音響に対する志向、音楽的文法、演奏形態、社会的意味や機能において多様である。人は生まれ出でてから進む社会化の過程で特定の音楽を身につけるため、触れたことのない音楽は外国語と同様に未知な状況であることが一般である。さまざまな音楽文化間には、共通する要素もある一方、大きな違いが認められる。

異なる文化を持つ人々、あるいは異なる社会階層に生きる人々の間の大きな社会課題と考えられる「分断」を回避するまたは軽減するために、音楽文化が果たせる役割が存在するのかもしれないのか、どのような方法があるのかもしれないのかについて解答者の意見を求める。その結論に至る論理を支える明確な根拠を示すことが可能か、その論理展開が適切かを問い、音楽に関する日本語論文として適切な語彙、文体、助詞・接続詞、表現が使えるかを評価する。

■音楽文化教育専攻 小論文

受験生が、身近な社会課題、とりわけ子ども・若者をめぐる課題に目を向けているかを問い、それを解決するための「居場所づくり」を一つのテーマに、音楽が果たす役割や効果を、具体的な取り組みの提案をととして自らの言葉で説明することを求めるものである。

評価にあたっては、以下の点を満たしているかどうかを採点基準とする。

1. 対象とする中学生・高校生だからこそ目を向ける必要がある課題について、具体的にイメージしながら問題の本質を考察しているか。
2. そうした問題の本質に対して「居場所づくり」が果たす役割を理解できているか。
3. 音楽を中心に据えた具体的な「居場所づくり」の取り組みの提案が適切か。
4. その理由を論理的に、且つ自分の言葉でわかりやすく論述できているか。

2026年度 一般選抜（B日程）問題〈音楽文化教育専攻〉出題意図

■音楽文化教育専攻 小論文

本問題は、海外における音楽教育をめぐる議論を手がかりに、日本の公教育における音楽教育の意義と課題について主体的に考察する力を問うものである。

受験生が自身の音楽学習経験を踏まえつつ、音楽を教育の営みとしてだけでなく、文化的・社会的文脈の中で捉え、公教育が果たすべき役割を多角的に考察できるかをみる。あわせて、自らの立場を、筋道を立てて構成し、説得的に表現する力を評価する。

2026年度 総合型選抜問題〈吹奏楽アカデミー専攻〉出題意図

■吹奏楽アカデミー専攻 面接および口述試問（楽典）

本専攻の志望動機を問うと同時に、吹奏楽そのものへの熱意と真摯度をはかるために課すものである。具体的には、これまでの吹奏楽体験において特に関心のある事項について語らせ、出題者よりそれについての専門的な質問をし、それに対する応答内容によって、普段からどのくらいの興味を持って吹奏楽に接しているかをはかる。

また、入学後の学修に必要な音楽の基礎的な知識を有しているかをはかるために、簡単な楽典の問題を口述試問の形で問う。音程・和音・近親調・楽語の4領域について出題し、口述とすることで対人能力もはかることを意図している。

■吹奏楽アカデミー専攻 面接および口述試問(楽典)

- A. 完全4度 B. 短6度 C. 増2度
 D. 減三和音 E. 属七の和音、Cis dur
 F. c moll G. Es dur
 H. だんだん遅く / 徐々にゆっくり / 次第に緩やかに、など
 I. 素朴に / 単純に / 気取らず / 簡単な / 初歩的な、など
 J. 記号のところに戻って / 印からもう一度、など
 K. 悲しみを持って / 苦しげに / 苦悩を感じて、など

2026年度 外国人留学生選抜・一般選抜(A・B日程)問題
〈吹奏楽アカデミー専攻〉出題意図

■吹奏楽アカデミー専攻 初見演奏

同じく選択科目として課されている「新曲視唱」「聴音」「副科実技(ピアノ)」と同様に、受験者の音楽的な基礎力をはかるために課すものである。この「初見演奏」では「新曲視唱」と同程度の難易度の器楽のための旋律を初見演奏させることにより、受験者の読譜力や表出力を見極める。ピッチの創出が「新曲視唱」よりも比較的容易となる代わりに、強弱変化やアーティキュレーションのよりの確な表出が求められる。

なお、「初見演奏」の課題曲は、その実施入試日程における出願者で本課題を選択した者の専門楽器に応じて作成される。もし複数の異なる楽器の出願者が本課題を選択した場合、同じ課題曲を各楽器用(打楽器は鍵盤打楽器とする)に移調した楽譜が用意され、楽器の違いによる不公平が生じないように配慮されている。

2026年度 外国人留学生選抜・学校推薦型選抜・一般選抜(A・B日程)問題
〈吹奏楽アカデミー専攻〉出題意図

■吹奏楽アカデミー専攻 口述試問

本専攻の志望動機を問うと同時に、吹奏楽そのものへの熱意と真摯度をはかるために課すものである。具体的には、これまでの吹奏楽体験において特に関心のある事項について語らせ、出題者よりそれについての専門的な質問をし、それに対する応答内容によって、普段からどのくらいの興味を持って吹奏楽に接しているかはかる。

■ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 数学

入学後に於ける理数系の授業の基礎となる知識の理解度を確認する。
 また円滑な授業への参加の可能性を判断する。

2026年度 一般選抜(A日程)問題
〈ミュージックビジネス・テクノロジー専攻〉模範解答

■ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 数学

Ⅰ (1) 最大値 -2 ($x=1$ のとき)

(2) (a) 7 (b) $\sqrt{5}$, $-\sqrt{5}$

(3) $-\frac{7}{2} < x < \frac{3}{2}$

(4) (a) 12個 (b) 8個 (c) 84個

(5) (a) $1100111_{(2)}$ (b) $205_{(7)}$

Ⅱ (1) $\frac{1}{6}$ (2) $\frac{1}{9}$

Ⅲ (1) $a_n = 4n + 1$ (2) 第25項 (3) 860

Ⅳ (1) (a) $A(-\frac{1}{4}, \frac{9}{4})$ (b) $B(-\frac{3}{2}, -\frac{3}{2})$ (c) $C(1, 1)$

(2) $G(-\frac{1}{4}, \frac{7}{12})$

(3) 3分の1

■ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 数学

Ⅰ (1) 最小値 -8 ($x=2$ のとき)

(2) (a) $A \cap B = \{1, 3\}$ (b) $A \cup B = \{0, 1, 2, 3, 5, 7\}$

(3) (a) $a^3 + 9a^2 + 27a + 27$ (b) 商 $x + 5$; 余り 0

(4) (a) 50個 (b) 11個 (c) 56個

(5) (a) $1111110_{(2)}$ (b) $1001_{(5)}$

Ⅱ (1) 9通り

(2) $\frac{1}{4}$

(3) $\frac{1}{6}$

Ⅲ (1) $p=1$, $q=1$

(2) $r=1$, $s=1$

(3) $1 - \frac{1}{n+1}$ ($= \frac{n}{n+1}$)

(4) $n=3$

Ⅳ (1) $m=5$, -3

(2) $x = -\frac{1}{2}$ ($m=5$ のとき), $x = \frac{1}{2}$ ($m=-3$ のとき)

■ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 小論文・論文課題

与えられた課題を正確に読解・分析し、出題の意図を捉える能力を問う。その際、ICTや音楽をめぐる社会動向や技術革新に対し、自らの意見を論理的に構成し、限られた字数内で簡潔かつ適切にまとめる記述力を評価する。

■ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 口述試問

ミュージックビジネスおよびテクノロジー領域に対する関心の高さ、および論理的思考力を問う。対話を通じて、自身の考えを客観的かつ具体的に説明できるか、またICTや音楽が社会に与える影響について基礎的な理解を備えているかを確認する。さらに、本専攻での学びを通じて、将来的に社会の諸分野においてどのような価値を創出したいと考えているか、その意欲と適性を総合的に評価する。

I.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	c	d	b	a	b	c	b	c	d	c

II.	(1)	(2)	(3)	(4)
	d	b	b	a

III.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	T	F	T	T	F	F	F	T	F	F

- IV. One famous person who contributed to world peace is Malala Yousafzai. She is a Pakistani activist who has worked to protect the rights of girls to receive education. When she was a teenager, she was attacked by the Taliban for going to school, but she survived and continued to speak out for children's rights. In 2014, she became the youngest person to receive the Nobel Peace Prize. Malala's story teaches us the power of courage and education. She did not give up, even when her life was in danger. Her peaceful message reached people all over the world, and now many countries are more aware of the importance of education for all children, especially girls. We can learn from her that peace is not only the absence of war, but also the presence of opportunity and equality. If we want to make the world more peaceful, we should support education, listen to others, and stand up for what is right—even in difficult situations.

■出題意図

- I. 文法・語彙問題。基本文法・語彙の定着度をはかる。
 II. 会話文による問題。二人の話者による会話を読み、文脈に沿って正しい応答表現を選ぶことの出来る力をはかる。
 III. 長文読解。一般的なニュース記事を読み、内容を正確に把握する力をはかる。
 IV. 英作文。与えられたトピックに対し、自分の持っている知識をもとに、具体例に触れながらパラグラフを書くことができる力を問う。

I.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	c	a	b	d	b	b	c	d	b	b

II.	(1)	(2)	(3)	(4)
	b	d	c	a

III.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	F	T	T	F	T	T	F	T	T	F

- IV. YouTube has become an important part of our daily lives, and it offers both advantages and disadvantages. One major advantage is that it provides easy access to information. For example, people can learn new skills, such as cooking or studying foreign languages, by watching instructional videos. As a music student, I often watch videos of my favorite artists and performances of the pieces I am studying. YouTube is also useful for entertainment, allowing users to relax by watching music videos or comedy clips anytime. However, YouTube also has some disadvantages. One problem is that people may spend too much time watching videos and neglect their studies or work. In addition, not all information on YouTube is reliable, and some videos may contain misleading or inappropriate content. In conclusion, YouTube can be a very useful platform if it is used wisely, but users need to manage their time carefully and think critically about the content they watch.

■出題意図

- I. 文法・語彙問題。空欄補充による文法・語彙問題である。高校修了程度の基本的な文法力および語彙力をみる。
 II. 会話文。会話文に適切な文章を補充する問題である。文脈を読み、会話の流れに相応しい表現を選択できるかどうかをみる。
 III. 長文読解。ニュース、一般書、エッセイ、ライナーノーツなど、英語で書かれた文章を読み、内容の正誤を答える問題である。300～400字程度の文章を限られた時間で読み、文脈に沿って要点を理解できているかをみる。
 IV. 英作文。与えられた題に150字で意見を述べる英作文問題である。高校修了程度までの基本的な文法、表現を用い、パラグラフ・ライティングの原則に沿って英文を書く力をはかる。

I.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	b	c	b	a	c	d	b	a	c	b

II.	(1)	(2)	(3)	(4)
	b	a	b	c

III.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	T	T	F	F	T	F	F	T	T	T

- IV. In some fields, positions are passed down within families. This system has both advantages and disadvantages.

One advantage is stability. When a position is inherited, the successor often grows up learning about the job from an early age. For example, in traditional arts or family businesses, children may receive special training and gain experience over many years. This can help preserve traditions and maintain high quality.

However, there are also disadvantages. Family members may not always be the most talented or suitable people for the position. In politics, for example, leadership should ideally be based on ability rather than family background. If opportunities are limited to certain families, it may reduce fairness and discourage other talented people.

In my opinion, while hereditary systems can help protect tradition, ability and effort should be more valued than family ties in modern society, as this will give more people equal opportunities.

■出題意図

- I. 文法・語彙問題。空欄補充による文法・語彙問題である。高校修了程度の基本的な文法力および語彙力をみる。
- II. 会話文による問題。会話文に適切な文章を補充する問題である。文脈を読み、会話の流れに相応しい表現を選択できるかどうかをみる。
- III. 長文読解。ニュース、一般書、エッセイ、ライナーノーツなど、英語で書かれた文章を読み、内容の正誤を答える問題である。300～400字程度の文章を限られた時間で読み、文脈に沿って要点を理解できているかをみる。
- IV. 英作文。与えられた題に150字で意見を述べる英作文問題である。高校修了程度までの基本的な文法、表現を用い、パラグラフ・ライティングの原則に沿って英文を書く力をはかる。

受験生が問題の意味を理解できているか、また出題者の指示に従って文字数、問題内容が的確に把握され解答されているかを見極め、大学生活を送るのに必要な読解力と文章力が身についているかを見る。